

会報

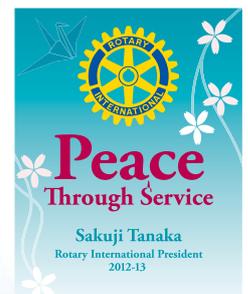
過去に学び
次世代への継承

2012~2013年度 会長 黒島 一生

第2695回 1月29日(火)

2012~2013

奉仕を通じて平和を
心・家族・地域・世界に平和の恩恵を



本日のプログラム

「節分祭」

小野 孝良 会員

次週のプログラム 2月5日(火)

「弁護士会の活動について」

平井 喜一 会員

- 例会場/ホテル函館ロイヤル TEL(0138)26-8181(代)
- 例会日/毎週火曜日 12:30~13:30
- 事務所/ニチロビル4F TEL(0138)23-3870 FAX(0138)22-2251
- 会長/黒島一生 ● 副会長/戸嶋浩 ● 会長エレクト/池垣信一
- 幹事/佐藤真一 ● 副幹事/五十嵐正
- 友好クラブ/青森東ロータリークラブ・長崎東ロータリークラブ

第2694回例会 2013年1月22日(火) 天候 晴

月間テーマ ロータリー理解推進月間

■ロータリーソング それでこそロータリー

■司会 黒島 一生 会長

■ビジター

奨学金奨学生

函館大妻高校 3年 前田 莉那 さん

函館大学附属柏稜高校 2年 石岡 舞生 さん

清尚学院高校 1年 徳永 颯 さん



介する方がおりましたら幹事までお知らせ下さい
ますようお願いいたします。

2、長崎東RCより会報が届いておりますので回
覧願います。

3、2月1日函館五稜郭RC移動例会、2月6日
函館北RC移動例会へ夫々例会変更しております。

「ロータリー情報委員会」

委員長

渡辺 友子 会員



ロータリーの原点を学ぼう。
創始者ポール・ハリスの心とは…

ロータリーの心を考えるには、
ポール・ハリスがなぜロータ
リーを創立したかを学ぶ必要
がありますが、答えは友情を
求めるために創立されたと伝えられております。
よく「淋しかったから」と答えられているのも有
名な話であります、ポール・ハリスが大切だ
と思っていたことは、前述の友情が基本にあり、寛
容の精神で職業人(業種を代表する)による会員
の楽しい集まりであり、その会合で心は少年時代
にもどるとも述べています。

4人の友情で創立されたロータリーが122万人
の大組織になったのは、創始者の方々の強烈的な精
神があり、ロータリーの基本があったからだとも
伝えられております。

昨今の新聞紙上やテレビ報道でも、好ましくな
い情報や事件が多発しております。

その根源は、自分勝手な自己主張のみ強くて得
手勝手な人間が増えたためとも分析されておしま
すが、ロータリーは正反対の考え方で「人の役に
立とう」というそのサービス精神は職業奉仕で有
名なアーサーF. シェルドン氏の概念や、4つの

■会長報告

1、理事会報告

①タイ・バンコク視察日程について承認。

②「犬猫救いたい」後援依頼について承認。

2、東京オリンピック、パラリンピックのリーフ
レットとバッジが届いておりますので配布いたし
ます。

■委員会報告

1、新世代奉仕委員会：奨学金を支給いたします。

2、国際奉仕委員会：タイ・バンコク視察のご案内を
いたしましたのでご参加よろしくお願いた
します。

■幹事報告

1、地区より委員会増強のための「SAKUJI」
作戦推進のお願いが届いております。国際ロータ
リー理事会は2015年6月末までに会員数を130万
人にする決議をし、本年を初年度として純増3%
を掲げました。「SAKUJI」作戦の概要は、
会員が日本にいる信頼できるロータリアンに相応
しい友人や知人を紹介し、地区でとりまとめ賛同
クラブへ紹介状を送ることとなります。当クラブ
でも賛同いたしました。会員の皆様で他地区へ紹

テストを創案したハーバート J. テーラー氏の考えから生まれたと所以と思います。

ロータリーの素晴らしい魅力の再発見について、ロータリーを愛し、ロータリーの原点を大切に思っているらっしゃる、廣畑富雄パストガバナー（第2700地区・福岡西RC）より御著書「ロータリーの心と原点」に巡り会う機会に恵まれました。

その結びにロータリーの魅力とは何か。ロータリーの心と原点を再確認し、ロータリーの基本に返ることで得られるものと述べています。その考え方を簡単にまとめさせていただきました。

- 1、ロータリーは知人の集まりでなく友人の集まりである。
- 2、サービスの心を大切に。（思いやりの心）
- 3、ロータリーの綱領と4つのテストを大事に。
- 4、ロータリアンは業種の代表であり、異業種交流を。
- 5、民主主義を大切に。（クラブの自主性を大事にする組織である）
- 6、外部活動は原点に振り返り見直しとスクラップ・アンド・ビルドが必要。
- 7、ロータリーの心と原点に立ち返るとき、その存在意義は大きい。（自信と誇りを…）

—— 国際ロータリー第2510地区 2012-13年度ガバナー
細川 好弘 氏の文章をガバナー月信より拝読 ——

情報委員会本日は、ロータリー情報委員会で卓話のお時間を頂戴いたしました。先般、他クラブの米山委員長をなさっている方と、会合で席が隣になりいろいろお話しをお聞きしました。私は、最近、会長職を終えてから、燃え尽き症候群状態でしたが、いろいろお話しを聞くうちに気づかされ、反省と感動致しました。私が、米山委員長の時に、思ったことは、お金を集めるのは大変、と言う思いでした。しかし、その方は、この機会に米山梅吉を学ぼうと足跡をたどり記念館に行かれ

たそうです。そして、ロータリアンにこのような立派な方がおられたという事に感動し、自分も少しでも倣い、他のために尽くしたいとおっしゃっておりました。そして、そのついでに三島の美味しいなぎを食べてきましたと、笑ってお話くださいました。私もなぎには目が無いので余計に感動しました。ある本を読んでいましたら、「良い人のそばにいたら、知らないうちに、良い人になれる」と言う言葉を見つけました。道元禅師のお言葉だそうです。これをロータリーに当てはめて、『ロータリーに入っていたら、知らないうちに良い人になる』と読み替えてみました。ロータリーにおける良い人とはどんな人なのかを考えて見ますと、ロータリアンのお役目の一つに、他の人に奉仕することとなっております。他人のために何かをすることの出来る人になることとなっております。しかし、なかなか他の人に奉仕といっても、気持ちがあっても、個人では、日々の日常に流されていくのではないのでしょうか。

ロータリーの事業活動には、世界平和のため、人類の幸せのため、ポリオや他の病気を世界から失くすこと、環境破壊に歯止めをかけること、子どもの死亡率をへらすこと、飢えを減らすこと、識字率を高めること等……沢山あり全世界で活動しております。それらに友情を育む仲間と共に汗を流す、その様な機会に恵まれているのがロータリーではないかと思えます。ロータリーの中にいて、出席をし、親睦を深めながら、ゲスト講師、先輩ロータリアンから学ぶうちに、奉仕に目を向けることが自然に出来、知らないうちに力が付いてくることになるのではないのでしょうか。ロータリーの価値を見つめなおし、ロータリーを楽しんでいただけたらと思います。

■ニコニコボックス

黒島会長、佐藤真一幹事 親睦活動委員会の皆さま頑張ってください。

宮崎あけみ会員 大寒過ぎましたが寒いですね。

平井会員 寒い中おつかれさまです。

■広告料 (株)リード不動産 渡辺友子会員
及明ビル管理(株) 小林真樹会員

■出席報告

- ・1月22日(火) 46名中出席33名(免除1名)
- ・1月8日(火) 出席率84.44%

市内他クラブ プログラム

1月30日(水) 函館北RC

「卓話」 深瀬晃一 会員

1月31日(木) 函館RC

「ラグビーのレフリーとは」 石井 勝 氏

2月1日(金) 函館五稜郭RC 夜間例会

2月4日(月) 函館亀田RC 卓話

◆テレフォンサービス 26-3170◆

明治安田生命保険相互会社

吉田 恵美子 会員

梁川町15-21 電話 53-3089

(株)ツカサ技研

吉田 昇 会員

滝沢町11-11 電話 57-1414